

やまちゅうスクエア

吹田市立山田中学校 学校だより 平成29年6月 第3号



大好きな大好きな人を悲しませない
大切な人の笑顔に出会えるように・・・

校長 溝口千鶴

5月30日(火)の生徒総会の後、臨時全校集会を行い、人の心を傷つける言葉について考えました。

誰かに自分のいいところをほめてもらおうと、とても気持ちがいいものです。自分ががんばっていることを認めてもらおうと、踊り出したくなるほどうれしくなります。

他方、いやな言葉、心につきささる言葉は怒りや悲しみ、苦しみ、投げやりな気分を引き起こします。

自分の大好きな人や大切に思っている人たち(おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、弟、妹、親戚のおじちゃん、おばあちゃん、友達)が悲しい思いをしたり、つらい気持ちになるような場面を想像すると、自分も悲しくなり、腹が立ちます。

誰かを見下している自分はどんな自分だろうか・・・。

誰かを傷つけてしまうような言葉を投げつけてしまった自分を見たら、大好きな人はどう思うだろうか・・・。

人は、みんな生まれながらに幸せに生きていく権利があります。誰も、その権利を奪うことはできません。

世界はいろいろな人がいて、成り立っています。どの人も大切にされる社会でなければならないし、どの人もいやな思いやつらい思いをしない学校でなければなりません。

自分が言われていやなことを言わない、しない。

自分の大好きな人が悲しい思いになるようなことを言わない、しない。

自分のことを誇りに思えるような自分、自分を好きだと思えるような自分になろう。

そんな自分の前には、あなたの大好きな人、大切な人たちの笑顔がある。

大好きな人、大切な人の笑顔を想像するだけで、心の中が、なんだか、あたたかくなって、「明日も学校に行こう!」と思えるようになります。

(辻井先生のお話から)

先日、とても残念な言葉を耳にしました。それは友人をからかう時に投げかけられた言葉でした。

その言葉は障がいがある人や、その人を支えている多くの人にとって、とても悲しい言葉です。同時に、この障がいのある人を指す言葉を、障がいのない人に対し、からかったりするために使っているということは、障がいのある人たちと対等な関係を築けていないからではないでしょうか。心ない言葉によって、障がいという個性のある人や、周りの人をひどく傷つけているのだということを知ってほしいです。

様々な個性を持った生徒一人ひとりが大切にされ、誰もが「明日も学校に行きたい!」と思える山田中を、一緒につくっていきましょう。

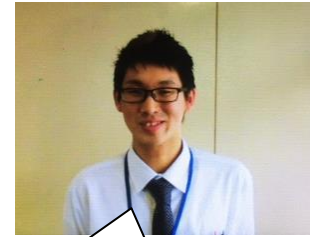
6月は「学校安全を考える月」です。本校でも、6月23日に吹田警察署防犯係の方をお招きし、不審者対応の教職員研修を実施する予定です。その後、6月30日に生徒も含めた避難訓練を実施します。「もしもの時に、どのように動くか」、ご家庭でも今一度ご確認ください。

☆教育実習生の紹介☆(5月29日~6月16日)

〔国語〕小畑 裕太 先生

〔数学〕薬師寺 悠生先生

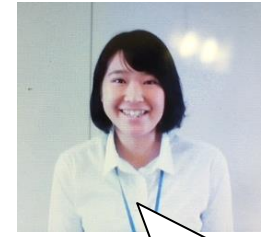
〔英語〕平野 夏鈴先生



二年生の国語科を担当しています。本が好きなので、休み時間は図書室にいたり、学校の中を探検したりしています。気軽に声をかけてください。三週間よろしくお祈いします。



二年生の数学科を担当しています。バスケットボール部でも指導の補助もできたらと思います。三週間よろしくお祈いします。



一年生の英語科を担当します。三週間という短い間ではありますが、全校生徒と一言でも会話をすることを目標としています。授業も頑張ります。よろしくお祈いします。

トニーからの
メッセージ



Aloha everyone.

My name is Tony and I am from Hawaii. I have been teaching English in Kansai for many years, I am so excited to teach at Yamada Junior High and meet new people. I love to have conversations with my students and get to know them well. The students are our future and I try my best to develop their skills in speaking English.

Let's have fun and improve your confidence in speaking English!

(みなさんアローハ。ハワイ出身のトニーです。私は関西で何年も英語を教えることができました。山田中学校でみなさんとの出逢いや、みなさんに教えることをワクワクしています。私は、みなさんと話をするのが好きで、みなさんのことをよく知りたいと思っています。生徒のみなさんは私たちの未来です。私は、みなさんの英会話のスキルを上げていくためにベストを尽くしますね。さあ、英会話を楽しもう!大丈夫、きっと上手になるよ!)

公園での遊び方について

公園は乳幼児から小学生や中学生など世代の異なる多くの人が遊んでおり、遊び方も「散歩」や「虫捕り」、「遊具遊び」、「鬼ごっこ」など様々です。そして、公園は「公共の場」であるからこそ、ルールもあります。小さい子どもはいきなり走り出したり思いがけない行動を取ったりするので、ボールが当たると危険です。また、近隣の家にボールが入ったりして少なからずご迷惑をおかけしています。公園においては、原則「ボール遊び」は禁止されており、学校においても、「禁止されている遊び方をすると事故になる」ということを伝えていますが、今一度ご家庭でも注意喚起をよろしくお祈いします。



敷地内での
球技禁止



☆Elementary School Days No.2☆ Mizuho Ueno

小学校の英語の授業では、授業の最初に「Clear Voice」、「Eye Contact」、「Smile」等の約束事や「めあて」を確認するなど、その授業で「何を学ぶか」がとても明確です。また、教室が賑やかになったときも、「教師が手拍子をする」と静かにするという約束事があったり、良い発言をした児童にはみんな「Good job!と言う」など、子どもたちの学習意欲を高めるための工夫が随所にあります。